

愛川町教育委員会

平成25年2月25日

愛川町教育委員会 2 月定例会会議録

- 1 会議日程 平成 25 年 2 月 25 日（月）
午後 2 時 00 分から午後 3 時 35 分
- 2 会議場所 愛川町役場 2 階 201 会議室
- 3 議事日程 日程第 1 会期の決定について
日程第 2 前回会議録の承認について
日程第 3 教育長報告事項について
 - (1) 教育長報告事項
 - (2) 平成 25 年度教職員人事配置状況について
 - (3) 平成 25 年度当初予算の概要について
 - (4) 平成 25 年度愛川町就学措置について日程第 4 愛川町立小中学校長及び教頭の任免内申について
日程第 5 愛川町教育委員会表彰（随時）被表彰者の決定について
日程第 6 その他
 - (1) 平成 24 年度小中学校卒業式及び平成 25 年度小中学校入学式における「教育委員会のことば」について
 - (2) 第 67 回市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」の結果について
- 4 出席委員 教育委員長 榮 利 隆 一
委員長職務代理者 岡 本 弘 之
教育委員 井 上 正 博
教育委員 平 田 明 美
教育長 熊 坂 直 美
- 4 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者
教育次長 河 内 健 二
教育総務課長 熊 坂 祐 二

生涯学習課長	大八木 尚 一
スポーツ・文化振興課長	小 島 義 正
教育開発センター指導主事	佐 野 昌 美
指導室指導主事	藤 本 謹 吾
教育総務課副主幹	井 上 守

◎開会

- （榮利委員長） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席委員は5人であります。定足数に達しておりますので、2月愛川町教育委員会定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりでありますから、ご承知願います。

これより日程に入ります。

◎日程第1

- （榮利委員長） 日程第1、会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期であります。本日1日と定めたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （榮利委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第2

- （榮利委員長） 次に、日程第2、前回会議録の承認についてを議題といたします。

会議録につきましては、既に配付のとおりであります。

これより質疑に入ります。

何かご意見、ご質疑がありましたらお願いいたします。

委員の方、どうでしょうか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

- （榮利委員長） ご異議ないものと認めます。よって、質疑を終結し、表決に入ります。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○(榮利委員長) ご異議ないものと認めます。

よって、日程第2、前回会議録の承認については、原案のとおり承認されました。

なお、定例会終了後に会議録署名原本をお返しいたしますので、委員の方は署名をお願いいたします。

◎日程第3

○(榮利委員長) それでは、次に、日程第3、教育長報告事項についてを議題といたします。

初めに、(1)教育長報告事項の説明をお願いいたします。

——教育長より詳細について説明——

○(榮利委員長) 説明ありがとうございました。

これより質疑に入ります。

(1)教育長報告事項について、何かお聞きしたいところなどありましたらお願いいたします。

○(平田委員) よろしいでしょうか。

○(榮利委員長) 平田委員、どうぞ。

○(平田委員) 12日の新採用教員面接で、今の教育長からのお話でわかっているんですが、ここに来て新採用に初めてなられる教職の方なんですけれども、個人においてはいろんな緊張がある中、社会的においては、教師(員)の質を問われる内容がマスコミを通して報じられておりますが、その辺の内容は新採用の先生たち、いかがでしょうか。

○(熊坂教育長) 新採用の面接ということで、いろいろ教員になったきっかけとか抱負だとか、そういうものをお聞きしまして、新しく教員になりたいという希望がありますので、希望に燃えた形でのお話がありました。その中で二、三、特徴的だったのは、自分が小学校、中学校のときに担任だった先生方の感化が大きくて教員の道を選んだというお話をされた方が3人ほどございました。

以上でございます。

○(榮利委員長) 平田委員、よろしいですか。

○(平田委員) はい、結構です。ありがとうございました。

○(榮利委員長) ほかにございませんか。

ほかの委員の方、よろしいですか。

(「特にありません」と呼ぶ者あり)

- (榮利委員長) それでは、特に質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

- (榮利委員長) ご異議ないものと認めます。

よって、(1) 教育長報告事項については、教育長報告のとおり、ご承認をお願いいたします。

次に、(2) 平成25年度教職員人事配置状況についての説明をお願いいたします。

- (熊坂教育長) それでは、資料2をご覧いただきたいと思います。

左側のページが、今年度4月に配置をいたしました内容でございます。右側のほうが、来年度4月1日ということで、これは学級数等がもとになりまして配置ということでございます。

大きく変化はございませんが、小学校関係では、中津小学校で昨年1年生が3クラスでしたが、今年4クラスが見込めるということで、1学級増ということになっております。

そのほか若干の多い少ないはありますが、総体としては、小学校は1学級増の普通級が70、特別支援学級が18ということでございます。

ここの数字には出てこないものとしまして、実は国の予算で来年度スライドしなかった、2年生から3年生、35人学級が実施できなかったわけですが、それに影響を受けた学校が小学校で1校ございます。

今まで72名ということで、35人学級ができるという予算配置がありましたので、3学級で1年生、2年生と来たわけですが、残念ながらその配置が、自動的にありませんので、強いて言えば、少人数指導なども加配の部分が適応できれば3学級で運営ができますが、そこがないとすると、2学級での運営をせざるを得ないという状況が一つございます。学校では、恐らく1人は少人数指導のための教員を配置しておりますので、ほかの学年との兼ね合いで、どこにするか悩まれると思うんですが、もしかすると、3年生はそのまま35人学級の範囲で3学級でいるかと思います。

これが非常に、人数が2学級と3学級では1学級の人数がすごく違ってくるんですね。特に1年生2年生の間、3学級編成でできましたので、26人の編成でした。今度はできませんので、そのまま規定どおりいくと36人になるんですね。実に1学級の人数が10人ふえるということで、果たしてこれで学級運営をしていくのにうまくいくのかなという心配はございま

す。

そういうこともありますので、私たちも、教育長会の組織も通じながら、あるいは教育委員さんの会も通じながら、ぜひとも35人学級の学年ごとの拡大は、これは絶対国に要望として、さらに続けていかないといけないというふうに思います。これは子供たちのためなんです。

いろんな団体があるわけですが、教育長の団体あるいは教育委員さんの団体、いずれもこの35人学級は義務教育全てに適用したいというのが願っていますので、ぜひとも来年度、また要望をしていきたいという内容があります。少し余計なことを申し上げましたが、そういうようなところが一つございます。

中学校のほうは普通級につきましては、今年度と同じ全てで35学級、変わりはありません。それから、特別支援学級につきましては、いずれの学校も1増ということで、8学級が11学級になるということがございます。これから人の配置を決めていくわけですが、この数字をもとに各学校で来年度の先生方の校務分掌を決め、各学年の指導に当たっていただくというようになるかと思っております。

今後は、子供たちの数の関係で、一、二の学校の学年では微妙に変化をする可能性も残っております。ちょうど80人の学校もあつたりいたしますので、40人学級でも81になれば3にできるということで、そういうところがふえてほしいなど思っておりますが、今後、変化に応じまして学級数は変わってくるものと思います。

説明は以上でございます。

○（榮利委員長） 説明は以上のとおりです。

これより質疑に入ります。

（2）平成25年度教職員人事配置状況について、何かお聞きしたいところなどありましたら、お願いいたします。

特にございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○（榮利委員長） ほかに質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（榮利委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、（2）平成25年度教職員人事配置状況については、教育長報告のとおり、ご承認

をお願いいたします。

次に、（３）平成25年度当初予算の概要についての説明をお願いいたします。

○（熊坂教育総務課長） それでは、平成25年度当初予算の概要につきまして、ご説明を申し上げます。資料の3をご覧ください。

この資料につきましては、先ほど教育長の報告の中にありましたように、2月20日に愛川町の平成25年度当初予算の記者発表が行われたときの記者発表資料でございます。これに沿ってご説明を申し上げます。

まず、1ページを開いていただきまして、予算の全体像でございます。

1番の歳入歳出予算総額というところで、平成25年度につきましては、一般会計につきましては120億1,200万円ということで400万円の増となっております。

それと、国保から下水道までの4つの特別会計と水道事業会計、これを合わせまして、総額では225億5,800万円というような状況になっておりまして、総額ですと、前年度比5,100万円、0.2%の増ということで微増にとどまっております。ほとんど24年度と金額的には微増というような形になっております。

次に、2ページをご覧ください。

一般会計歳入歳出予算の内訳ということで、歳入の内訳がそこに載せてございます。

その表の1番上、町税①となっておりますが、これが24年度、前年度に比べますと、そこにありますように3億4,937万2,000円の減ということで、町税の減がかなり大きくなっております。

一番下の自主財源と依存財源のところを見ていただきますと、その自主財源の減が、町税の減が一番大きいわけなんです、その分を町債などの依存財源で賄っているというような状況でございます。

次に、3ページ目をご覧ください。

今度、町税の内訳ということで、一番上に町民税で、個人町民税と法人町民税がございします。その法人町民税のほうが、比較で見ますと、そこにありますように3億1,600万円ほど減というような形になっております。この法人町民税の減が非常に影響が大きいということになっておりまして、一番下の総計でも、ほぼ同額の減となっております。町税の減が3億4,900万円ほどあるということですね。

次に、4ページ目をご覧ください。

今度は歳出のほうで、目的別の表になっております。9番のところに教育費がございします

が、そこにありますように、25年度は12億8,438万1,000円ということで、25年度の予算全体に占める割合は10.7%ということになります。金額でいきますと8,299万円の増ということで、前年度に比べまして6.9%の増というような状況になっています。

この町の歳出全体を見ますと、4番の衛生費、これがかなり伸びているわけなんです、新保健センターの建設絡みの予算があるということで、比率が高くなっております。

次に、5ページ目をご覧ください。

今度は歳出の性質別の表でございます。25年度のところを見ていただきますと、消費的経費の中の上から3番目4番目、維持補修費ですとか、扶助費、これが非常に伸びていまして、これの支出に占める割合がふえております。

扶助費については、医療関係や福祉関係、こういったものの扶助費が年々伸びているというような状況でございます。

次に、6ページからが主要施策ということで、各課が担当します事業等が載っております。

まず、3番目、6ページのところですね。子育て支援を柱とした福祉・健康施策の推進の中では、教育関連でいきますと、8ページをご覧ください。8ページの上から3つ目、(11)放課後児童クラブ事業、これが2,816万7,000円ということで、生涯学習課の担当となっております。放課後児童クラブを町内全小学校6校で運営するものでございまして、そこにありますように、対象が小学校1年から3年までの児童、定員としては、そこに書いてあるとおりでございます。これは月額4,000円の利用料を徴収するというところでやっている事業でございます。

次に、その下の(12)かわせみ広場事業1,489万1,000円、生涯学習課の関係でございます。これは、町内の児童館ですとか公民館を利用して、小学校1年生から6年生までの児童の健全育成を図るための交流活動を行うものでございます。児童館等につきましては、町内で14施設で実施することになっております。

ずっと飛んでいただいて、教育関係になりますと、今度14ページになります。

14ページで、人づくりのための教育施策の推進ということで、1番の学校教育、(1)小中学校施設整備事業でございます。9,733万8,000円で教育総務課の担当でございます。施設整備を計画的に努めるものでございまして、また25年度につきましては、小中学校のトイレについて洋式化を推進し、学校環境の整備を図るものでございます。

一つ目として、小学校外壁改修工事ということで、中津小学校の43年度棟の外壁全面改修工事を行います。

次の黒丸で、小中学校トイレ改修（洋式化）工事、これが小学校につきましては、菅原小については、トイレの大規模改修を以前行っておりますので、それを除く5つの小学校におきまして、全部で20基、洋式化を図ります。

中学校については3中学校で、全部で60基、小中合計で80基の洋式化を図るものでございます。

その下の黒丸で、その他の小中学校施設整備工事としましては、田代小の給食室の床塗装工事、菅原小が西門の門扉改修工事と給食室のガス配管の改修、愛川中学校がFFファンヒーターの交換、愛川東中が昭和50年度棟の階段室の壁の改修工事を実施いたします。中原中が保健室の床の張りかえとファンヒーターの交換となっております。

次に、15ページをご覧ください。一番上の（2）中学生の学力向上への支援ということで176万7,000円、教育総務課でございます。24年度から実施している学力検査、中学校1・2年生を対象の学力検査を実施していくものでございます。5教科と、あと生活実態調査でございます。

次に、丸新となっておりますが、（3）かながわ学びづくり推進事業58万円でございます。これは、神奈川県「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」の指定を受けまして、授業研究の推進ですとか講演会の開催など、学力向上のための各種事業を実施するものでございます。指定校としましては、愛川東中、中津小、菅原小学校の3学校、事業内容としては、授業力向上をテーマとしたワークショップですとか、家庭生活にかかわる内容の講演会を予定しております。

次に、（4）高等学校等への通学及び入学準備に対する助成で987万9,000円、これは引き続き高校生、高校等に通う方の通学に対する助成と、あと入学準備に対する助成をそれぞれ行っていくものでございます。

（5）教育相談事業、1,028万4,000円でございます。これも、引き続き支援教育アドバイザーですとか、スクールカウンセラー、相談員等の派遣、また相談指導教室の運営を行っていくものでございます。

その次に書いてありますが、なお、これまで県が派遣してきました「スクールソーシャルワーク・サポーター」、スクールソーシャルワーカーをサポートする方なんですが、この制度が県のほうが廃止されることになったことに伴いまして、25年度は町の費用負担によりまして、引き続き派遣することとしたものでございます。

次、（6）小中学校情報教育推進事業でございます。25年度につきましては、平成17年度

に導入をいたしました中学校のパソコン教室用の機器につきまして、タブレット型のパソコンですとか無線LANなど最新システムを導入して情報教育の充実を図るものでございます。

次に、16ページ2番の生涯学習関係でございます。新規事業となっておりますが、(1) 図書館構想づくり推進事業、236万7,000円ということで、これについては町民へのアンケート調査を行いまして、また図書館構想策定委員会の設置、図書館の構想づくりに向けた取り組みを推進するものでございます。事業内容につきましては、そこに書いてあるとおりでございます。

3番目のスポーツ・文化振興でございます。新規事業となっておりますが、(1) ふるさと愛川写真展の開催、6万円でございますが、これは「愛川発見 私の一枚」をキャッチフレーズに、豊かな自然と歴史を持つ愛川町のさまざまな場面をおさめた写真を募集しまして、郷土資料館において写真展を開催するものでございます。

(2) 各種スポーツ教室等の開催、150万5,000円でございます。各種スポーツ教室を実施するとともに、25年度につきましては「あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」、これは隔年の開催でございますが、その開催年に当たっておりますので、これを実施していくものでございます。

予算の概要につきましては、以上です。

○(榮利委員長) ありがとうございます。

説明は、以上のとおりであります。

これより質疑に入ります。(3) 平成25年度当初予算の概要について、何かお聞きしたいところがありましたら、お願いいたします。

委員の方、どうですか。よろしいですか。

(「いいです」と呼ぶ者あり)

○(榮利委員長) 特に質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○(榮利委員長) ご異議ないものと認めます。

よって、(3) 平成25年度当初予算の概要については、教育長報告のとおり、ご承認をお願いいたします。

次に、(4) 平成25年度愛川町就学措置についての説明をお願いいたします。

○(藤本指導室指導主事) 資料4をご覧ください。平成24年度愛川町就学指導の報告という

ことで、ご報告をさせていただきます。

本年、就学指導委員会につきましては、5回開催をいたしました。うち2回につきましては、臨時の就学指導委員会となっております。その5回の中で、就学指導委員会の審議対象となりました人数ですが、47件47名、つまり1人につき1回の審議を行っているとなっております。

内訳ですが、第2回の就学指導委員会におきまして、既に就学されている児童生徒の33件33名、第3回の就学指導委員会におきまして、新就学の児童、まあ園児となりますが、12件12名、また、途中での転入等によるものを含みまして、措置外を含みまして2件臨時就学指導委員会を行いまして、既就学の児童生徒につき1名、新就学の児童につきまして1名となっております。

その47件47名につきましては、答申と就学措置予定の学級種別の集計が2番のところとなっております。今回、備考欄が空欄でございまして、つまり、指導委員会の答申と措置の予定とは、ずれがなかったという結果となっております。

すみません、高いものからですが、1名、中学校の特別支援学級（自閉症・情緒）7という数字がございまして、就学措置予定も7なのですが、この中から、他市への転出予定の児童、今の時点では児童ですが、生徒が1名となっております。

裏面にまいりまして、この答申の47件47名を含めまして、来年度の特別支援学級の在籍児童・生徒数の予定ということで挙げております。合計数で申し上げますと、小学校が81名、中学校39名、合計で在籍者が120名の予定となっております。

ちなみに、24年度スタートが、110名の予定でしたので、それよりもまた10名ほどふえているといった状態となっております。

4番につきましては、町の中学校から支援学校に進んだり、あるいは中学部への進学等がありまして、予定では、そこにあります4つの特別支援学校に、合計で5名のお子さんが在籍する予定となっております。

説明は、以上となります。

○（榮利委員長） どうもありがとうございました。

これより質疑に入ります。（4）平成25年度愛川町就学措置について、何かお聞きしたいところなどありましたら、お願いいたします。

○（藤本指導室指導主事） 表中に誤りがあったので、申しわけございません。

裏面3番の児童・生徒数（予定）の中で、学級数の部分ですが、小計、小学校が18、中学

校11、これは先ほどの資料と合っておりますが、その下の合計が、29であるところに26という数字が入ってしまっております。したがって、学級数は29学級の予定となりますので、よろしく願いいたします。失礼いたしました。

○（榮利委員長） 委員の方、何かございますか。

委員の方、よろしいですか。

特に質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（榮利委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、（4）平成25年度愛川町就学措置については、教育長報告のとおり、ご承認をお願いいたします。

それでは、日程第3、教育長報告事項については以上とさせていただきます。

次に、日程第4、議案第13号、愛川町立小中学校長及び教頭の任免内申についてと、議案第14号、愛川町教育委員会表彰（随時）被表彰者の決定の案件については、人事案件となるため、非公開による審議とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○（榮利委員長） ご異議ないようでありますので、議案第13号、議案第14号につきましては、非公開で審議を行いたいと思います。

それでは、ここで暫時休憩いたします。

（休憩）

○（榮利委員長） それでは、会議を再開いたします。

◎日程第4

日程第4、議案第13号、愛川町立小中学校長及び教頭の任免内申について

◎日程第5

日程第5、議案第14号、愛川町教育委員会表彰（随時）被表彰者の決定について

ここで、非公開の会議が終了したので、暫時休憩といたします。

（休憩）

○（榮利委員長） 会議を再開いたします。

◎日程第6

○（榮利委員長） 次に、日程第6、その他について、初めに（1）平成24年度小中学校卒業式及び平成25年度小中学校入学式における「教育委員会のことば」についての説明をお願いいたします。

○（熊坂教育総務課長） それでは、「教育委員会のことば」につきまして、ご説明を申し上げます。資料5をご覧ください。

これから、中学校については3月8日、小学校については3月21日が卒業式、また入学式については4月5日ということで、これから開催されますが、例年のとおり「教育委員会のことば」というのを作成いたしまして、卒業式、入学式の資料の中にこれを印刷して入れ込むということで考えております。

当日は、司会進行のほうで、資料のほうに「教育委員会のことば」が入っておりますということで紹介をしていただくことになっておりますので、ことしもこういった文面で資料のほうには載せていきたいと考えております。よろしく願いをいたします。

以上です。

○（榮利委員長） 説明は以上のとおりです。

これより質疑に入ります。

平成24年度小中学校卒業式及び平成25年度小中学校入学式における「教育委員会のことば」について、何かお聞きしたいところなどありましたら、お願いいたします。

○（岡本委員） 言葉のあれなんですけれども、タイトルというか、小学校の卒業の言葉ですか、その3行目、「小学校六年間の課程を終え、母校から巣立つ」と書いてあるでしょう。母校というのは卒業した後の言葉じゃないのかね、普通。まだ卒業していない人だから、母校という表現はどうかかなという感じはするんですけれども、どうですかね。別に問題ないというんならいいんですけども。

○（榮利委員長） それでは、これは削除してください。小学校六年間の課程を巣立つ、「母校から」を削除してください。

ほかに委員さん、ございますか。

○（熊坂教育長） 一つよろしいでしょうか。中学校の日にちが違います。3月9日になっていますが、3月8日です。

○（榮利委員長） 2ページ目の、中学校の卒業式の「教育委員会のことば」の日付ですね、

平成25年3月8日です。

- （熊坂教育長） 小学校は21日で間違いないね。
- （榮利委員長） そのほか、教育委員の方、何かありますか。
- （井上委員） 中学も母校の扱いは同じですか。真ん中にありますけれども。
- （熊坂教育長） そうですね。
- （榮利委員長） 中学校の「教育委員会のことば」の13行目、ここの「母校」も削除。訂正をしてください。

ほかにございませんか。

では、ほかには質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （榮利委員長） ご異議ないものと認めます。
よって、（1）平成24年度小中学校卒業式及び平成25年度小中学校入学式における「教育委員会のことば」については、ご承認をお願いいたします。
今、直されたところは修正して配付をお願いします。
次に、（2）第67回市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」の結果についての説明をお願いいたします。

- （小島スポーツ・文化振興課長） 資料6をご覧ください。両面印刷となっております。

- 先般、2月10日の日曜日に秦野市中央運動公園から県立相模湖公園までの7区間、51.5kmで開催がされました、第67回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の結果について、ご報告をさせていただきます。記載されております市町村名は、上から総合順位の順です。

当日は、市が19チーム、町村が11チーム、合計30の市町村チームが出場いたしました。優勝は横浜市で、2時間39分8秒のタイムで4連覇いたしております。第2位が小田原市、第3位が茅ヶ崎市でありました。愛川町チームは、総合で第13位、町村の部では、第1位となりまして、7年ぶり6度目の町村優勝の結果でありました。愛川町は、前回の第66回と比較いたしますと、総合で5番、町村の部で2番、順位を上げております。また、タイムでは、2時間51分46秒の結果でありまして、前回より2分22秒短縮をいたしております。各区間では、第1区の中学生区間では、吉川選手が、区間7位の走りをしたのを

はじめ、第3区では、高校生の荻田選手が区間8位で走り、また、その他の各区間の選手も総合順位の13位を下げることなく、ゴールすることができ、大健闘いたしております。今回の愛川町選手団は、補欠を含めました11名の選手の平均年齢は19.8歳で、中学・高校生を中心に若い布陣でありましたので、今後が大変楽しみであります。

説明は以上です。

○（榮利委員長） 説明は以上のとおりであります。これより質疑に入ります。

（2）「第67回市町村対抗かながわ駅伝競走大会の結果について」何かお聞きしたいことなどありましたらお願いします。

特にございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○（榮利委員長） 特に質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（榮利委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、（2）「第67回市町村対抗かながわ駅伝競走大会の結果について」はご報告のとおりご了承願います。

○（榮利委員長） それでは以上をもちまして、議事の全てが終了いたしましたので閉会したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（榮利委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、2月定例会を閉会いたします。長時間にわたり、大変ご苦勞様でした。

愛川町教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名をいたします。

平成25年3月25日

教育委員長 榮利隆一

職務代理者 岡本弘之

教育委員 井上正博

教育委員 羊田唯美

教育長 熊坂直美

調整職員 井上守